



概要

Cisco Catalyst 8300 および 8200 シリーズ エッジ プラットフォームは、サービスの高速化、マルチレイヤセキュリティ、クラウドネイティブの俊敏性、エッジでのインテリジェンスを実現し、クラウドへの移行を促進するために設計された、クラス最高レベルの 5G 対応クラウド エッジプラットフォームです。

Cisco IOS XE SD-WAN ソフトウェアを搭載した Cisco Catalyst 8300 および 8200 シリーズ エッジプラットフォームを利用すれば、クラウド対応のセキュアな Cisco SD-WAN ソリューションをブランチに導入できます。Catalyst 8300 および 8200 シリーズ エッジプラットフォームは、高性能の統合 SD-WAN サービスに加えて、クラウドまたはオンプレミスのいずれでもセキュリティサービスおよびネットワークサービスを提供できる柔軟性を備えています。また、高密度の WAN ポートと冗長電源にも対応しています。Cisco Catalyst 8300 および 8200 シリーズ エッジプラットフォームには、モジュール密度の高いものから低いものまで各種インターフェイスオプションが用意されています。インターフェイスは、既存の WAN、LAN、LTE、音声、コンピューティングモジュールと下位互換性があります。Catalyst 8500 シリーズプラットフォームは、Cisco IOS XE、完全にプログラム可能なソフトウェアアーキテクチャ、API をベースに大規模な自動化を促進し、ワークロードをクラウドに移行しながらゼロタッチ IT を実現します。また、Cisco Catalyst 8300 および 8200 シリーズ エッジプラットフォームは、Trustworthy ソリューション 2.0 インフラストラクチャも搭載しているため、整合性をチェックして脅威を修復することで、脅威や脆弱性からプラットフォームを保護します。

Catalyst 8300 および 8200 シリーズ エッジプラットフォームは、中規模～大規模のエンタープライズ ブランチ オフィスで統合 SD-WAN サービスを利用し、高い WAN IPSec パフォーマンスを実現するのに適しています。

Cisco Catalyst 8300 および 8200 シリーズ エッジプラットフォームは、次のような使用例を対象としています。

- エンタープライズブランチオフィス、マネージドサービスプロバイダー CPE、DIA 用インターネットゲートウェイ、SD-WAN を搭載した SASE クラウドプラットフォーム
- 次世代のソフトウェアデファインド (SD) ブランチルーティングプラットフォーム

このドキュメントでは、Cisco Catalyst 8300 および 8200 シリーズ エッジプラットフォームに固有のソフトウェア機能の概要を示します。Cisco IOS XE および Cisco IOS XE の SD-WAN 機能には、それぞれ自律モードとコントローラ実行モードでアクセスできます。自律モードはデ

バイスのデフォルトモードで、Cisco IOS XE 機能が含まれています。Cisco IOS XE SD-WAN 機能にアクセスするには、コントローラモードに切り替えます。既存のプラグアンドプレイワークフローを使用して、デバイスのモードを決定できます。

universalk9 イメージを使用して、Cisco IOS XE SD-WAN と Cisco IOS XE の両方を Cisco IOS XE プラットフォームに展開できます。Cisco IOS XE Amsterdam 17.3 は、SD-WAN と非 SDWAN の両方の機能と展開のシームレスなアップグレードに役立ちます。

Cisco CLI を使用したコントローラモードと自律モードの切り替え

コントローラモードと自律モードを切り替えるには、特権 EXEC モードで **controller-mode** コマンドを使用します。

controller-mode disable コマンドは、デバイスを自律モードに切り替えます。

```
Device# controller-mode disable
```

controller-mode enable コマンドは、デバイスをコントローラモードに切り替えます。

```
Device# controller-mode enable
```



(注) デバイスを自律モードからコントローラモードに切り替えると、スタートアップコンフィギュレーションと NVRAM (証明書) の情報が消去されます。このアクションは **write erase** と同じです。

デバイスをコントローラモードから自律モードに切り替えると、すべての Yang ベースの設定が保持され、元のコントローラモードに切り替えた場合に再利用できます。モードをコントローラから自律に切り替える場合は、デバイスの設定が自動ブートに設定されている必要があります。

ブートストラップコンフィギュレーションファイルを使用したコントローラモードと自律モードの切り替え

すでに Cisco IOS XE 非 SD-WAN イメージを実行しているデバイスの場合、Cisco IOS XE リリース 17.3.2 以降のイメージをインストールすると、デバイスが自律モードで起動します。

すでに Cisco IOS XE SD-WAN イメージを実行しているデバイスの場合、Cisco IOS XE リリース 17.3.1r 以降のイメージをインストールすると、デバイスがコントローラモードで起動します。

モードを切り替えるには、**controller-mode enable** コマンドを使用して自律モードからコントローラモードに切り替え、**controller-mode disable** コマンドを使用してコントローラモードから自律モードに切り替えます。デバイスが起動すると、コンフィギュレーションファイル内の設定が適用されます。

デバイスがコントローラモードで起動すると、コンフィギュレーションファイル内の設定が適用されます。

単一の universalk9 イメージを使用して、サポートされているすべてのデバイスに Cisco IOS XE SD-WAN および Cisco IOS XE 機能を展開する方法の詳細については、『[Install and Deploy Cisco IOS XE and Cisco IOS XE SD-WAN Functionality on Edge Platforms](#)』を参照してください。

Cisco Catalyst 8300 および 8200 シリーズ エッジ プラットフォームには、次のモデルがあります。

- C8300-2N2S-4T2X
- C8300-2N2S-6T
- C8300-1N1S-4T2X
- C8300-1N1S-6T
- C8200-1N-4T
- C8200L-1N-4T

次の表に、Cisco Catalyst 8300 および 8200 シリーズ エッジ プラットフォームでサポートされるモジュールと機能を示します。

表 1: Cisco 8300 および 8200 シリーズ エッジ プラットフォームでサポートされるモジュールと機能

| 機能 | Cisco 8300 | Cisco 8200 | Cisco 8200L |
|---|---|------------|-------------|
| サービス プレーン アプリケーション (UTD、AppQoE、および TcpOpt) | 対応 | 非対応 | 不可 |
| CPU コア | 8 コア C8300-2N2S-4T2X は 12 コアをサポート | 8 コア | 4 コア |
| CPU メモリ | 8 G | 8 G | 4 G |
| バックプレーンサポート | 10 G | 10 G | 1 G |

この章で説明する内容は、次のとおりです。

- [このマニュアルの構成 \(4 ページ\)](#)

このマニュアルの構成

表 2: このマニュアルの構成

| セクション | 説明 |
|------------------------------|---|
| 概要 (1 ページ) | ルータの概要と、ルータの主要な内部プロセスについて説明します。 |
| Cisco IOS XE ソフトウェアの使用 | ルータでの Cisco IOS XE ソフトウェアの基本的な使用方法について説明します。 |
| Web ユーザーインターフェイスを使用したデバイスの管理 | ギガビットイーサネット管理インターフェイスと Web ユーザーインターフェイスの使用法について説明します。 |
| コンソールポート、Telnet、および SSH の処理 | Cisco IOS XE プラットフォーム間で共通のソフトウェア機能について説明します。 |
| ソフトウェアのインストール | ファイルシステム、パッケージ、ライセンス、ソフトウェアのインストールに関する重要な情報を提供します。 |
| プラットフォームの基本設定 | ルータを設定するために必要な基本作業について説明します。 |
| スロットおよびサブスロットの設定 | サービスモジュールが装着されるシャーシスロット番号およびサブスロットについて説明します。 |
| プロセスヘルスマニタリング | ルータの各種コンポーネントの正常性の管理および監視について説明します。 |
| システムメッセージ | syslog メッセージについて説明します。 |
| トレース管理 | ルータの内部イベントのログを記録するトレース機能について説明します。 |
| 環境モニタリングおよび PoE 管理 | ルータの環境モニタリング機能について説明します。 |
| ハイアベイラビリティの設定 | ネットワーク全体を保護するためのルータのハイアベイラビリティ機能について説明します。 |
| セキュアストレージの設定 | セキュアストレージの設定方法について説明します。 |

| セクション | 説明 |
|---|---|
| Call Home の設定 | Call Home 機能を使用すると、E メールベースおよび Web ベースで重大なシステムイベントの通知を実行できます。 |
| Cisco 拡張サービス モジュールおよびネットワーク インターフェイス モジュールの管理 | ルータに接続できるモジュールについて説明し、その他のマニュアルへの関連リンクを示します。モジュール (NIM および SM) の設定の詳細については、『 Documentation Roadmap 』を参照してください。 |
| セルラー IPv6 アドレス | この章では、IPv6 アドレスの概要と、Cisco C8000 シリーズルータでセルラー IPv6 アドレスを設定する方法について説明します。 |
| 無線対応ルーティング | この章では、無線対応ルーティング (RAR) の概要について説明します。RAR は、無線がルーティングプロトコル OSPFv3 と情報を交換し、1 ホップルーティングネイバーのアピアランス、ディスアピアランス、およびリンク状態について信号で伝えるメカニズムです。 |
| SNMP、Syslog、およびイーサネット OAM を使用した Dying Gasp | Dying Gasp は、顧客宅内機器 (CPE) の電源が失われたことを知らせるために、CPE からインターネットサービスプロバイダが管理する機器に送信されるメッセージ (または信号) です。 |

